

# 平成21年度 部誌・OB&OG 会報

— 現役と OB&OG の情報誌（架け橋） —



SHORINJIKEMPO

少林寺拳法



防衛大学校少林寺拳法部

No. 36

HP アドレス : <http://www.nda.ac.jp/ed/syorinji/>

## 目 次

- 1 部長挨拶  
通信工学科 教授 高橋 信明
- 2 監督挨拶  
防衛学教育学群 濱田 秀
- 3 学生寄稿  
5 5 期 主将 尾上 真一  
副将 川上 政晃  
5 6 期 関川 達也  
西田 浩士  
5 7 期 松崎 諒一  
朝鵜 悠太
- 4 平成 2 2 年度部員名簿
- 5 平成 2 1 年度活動成果
- 6 平成 2 1 年度各大会個人成績
- 7 平成 2 2 年度年間活動計画
- 8 少林寺拳法部第 5 5 期政権編成
- 9 少林寺拳法部顧問団等

## 奥平会報

- 1 巻頭言  
奥平会会長 1 7 期 石渡 幹生
- 2 平成 2 1 年奥平会活動概要
- 3 平成 2 2 年度奥平会活動予定
- 4 期連絡網について
- 5 連絡事項
- 6 奥平会会員名簿  
別紙第 1 平成 2 1 年度奥平会活動成果報告  
別紙第 2 平成 2 1 年度奥平会総会議事録  
別紙第 3 平成 2 1 年度奥平会決算報告書  
別紙第 4 平成 2 2 年度奥平会活動計画  
別紙第 5 平成 2 2 年度奥平会予算計画  
別紙第 6 奥平会名誉会員名簿  
別紙第 7 防衛大学校少林寺拳法部奥平会会則  
別紙第 8 全自衛隊支部の紹介  
別 冊 奥平会員名簿

## ご挨拶

部長 高橋 信明

### 合 掌

平成22年度がスタートしました。例年になく安定しない天候は、まるで現在の社会状況が示唆されているかのような感慨を覚えます。複雑な様相を呈しています。昨今、ますます自衛隊の役割が拡大し重要になっていますが、防衛大学校少林寺拳法部 OB・OG 諸兄姉におかれましては、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。変化は防衛大学校におきましても例外ではなく、数年来組織の改編が進むと同時に国際化も進んでおります。昨年まで防大には8カ国から90名ほどの留学生が在籍しておりましたが、今年度からは新たに4人の留学生が東ティモールから派遣されています。また、この中には女性2名が含まれており、これは防大で最初の女子留学生ということになります。

新年度に入り、尾上主将・川上副将を中心とします55期政権が本格的に活動を行っております。早いもので54期から政権が委譲されてから5ヶ月半が過ぎました。新年度当初在校生の部員数は諸事情により各学年13名に迄減り、合計39名でした。10年ほど前の一時期に比べれば少なくは無いのですが、互いに切磋琢磨して稽古に励むことにより部の雰囲気を保ち、安定した成果を出し続けるためには層の厚さが大切だと思っていたところ、政権を中心としました学生の努力により20名（うち女子1名）の58期生が入部しました。来年、再来年とこのままの勢いがさらに進み、先輩諸兄姉が築き上げて来られた伝統を復活してもらいたいと思います。

最後に、神田・頼富両先生も熱心にご指導して下さい、学生諸君も先輩に負けないくらいよく稽古しておりますので、OB・OG 諸兄姉におかれましては、これまで以上のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結 手



## 少林寺拳法部雑感

監督兼奥平会副会長（防大） 濱田 秀(#27)

合掌 私は縁あって、防大少林寺拳法部の4つの時代を見ることができました。1つは自らが学生であった時代（#24～#30）、そして顧問・監督であったそれぞれの時代（指導官勤務：#36～#40、研究科勤務：#42～#46、防衛学教官勤務#53～）です。

現在へと続く流れの中で、引き継がれてきた伝統もあれば、それぞれの時代固有の特色もありました。ただ、この30年を通じて変わらないのは、それぞれの時代の主人公である学生達が、その時々状況に誠心誠意、熱心に挑み、頑張っていると言うことです。部の活動場所が、施設も何もない泥だらけの「芝生道場」（現総合体育館の所在する場所は、開校以来27年間「芝生場」だった！当然道着も泥まみれ）から総合体育館に定住して久しくなりましたが、学生数は自らが学生だった120余名をピークに、30期生代半ばの60余名、40期生半ばの30余名へと変化をいたしました。50期生代になってこの数値は回復し、現在へと至っております。また40期生に制度化された女子学生は、これまでもその時々良き部員が育っていきましたが、ここ2年間においては1学年から4学年まで女子が連続して在籍するという状況へと発展してきました。

以上のように私は、長い目で少林寺拳法部を見る機会にめぐまれたわけですが、自らが歳を重ねたせいか、現在の部員のあることに気がつきました。それは少林寺拳法が好きで研究熱心な部員が多いということです。勿論このことは、過去はそうではなかったと知っているのではなくて、むしろ自らが自分や学生を冷静に観ることができるようになったことに起因するのでしょうか。例えば平成21年度の4学年は9名いましたが、そのうちの5名は自衛隊支部には入り、さらに練習を継続しようとしています。あるいはその先輩達も、自衛隊支部に入るか否かにかかわらず任官した後も少なからず少林寺拳法を続けたり、武専や道院に入っていたりしている者がいます。つまり少林寺拳法を防大ではじめ、それがライフワークとなっている者も少なからずいるということです。

少林寺拳法の良いところは宗派がなく日本全国で練習ができるということでしょう。このため学生は様々な先生、先輩、部外顧問等から学んでいます。良いところは、どんどん吸収していくというどん欲さがあると思うのです。さらに少林寺拳法は他の武道同様積み重ねが大切であるということ。自ら学生時代を振り返ると技の巧緻などが非常に気になった。しかしながら学生と接しているうち、それも確かに大切なことですが、それだけではない重要なことがあると思うに至りました。あたかも金箔を塗るが如く日々の積み重ねが未来を拓き、目に見えない何かを作り上げていくことこそ尊いのではないかと。

いずれにしても、どの時代もさまざまな係累の多い中、部員は懸命に日々を生きております。4年後に部は創立50周年をむかえます。OB顧問は少ないかもしれませんが、あと4年後に襷を渡せるように部長の指導の下、好意的に学生を見守ってくれている他の顧問団方々とともにしっかりフォローしていきたいと思っております。 結手



## 防大少林寺拳法部が目指すところ

第55期 主将 尾上 真一

合掌

昨年11月末に54期から55期に政権が交代して、早くも半年が経とうとしています。これまで困難なことや、分からないことも多々ありましたが、政権を中心として部員全員で取り組んできました。結果としては、まだまだ表せていませんが、私たちが政権を交代するまでには、少しでもご期待に応えられるようこれからも尽力していきます。

さてこの春、1学年が20名入部しまして防大少林寺拳法部の総員は59名となりました。各人、学年が1つ上がったことによって少林寺拳法部員であるという自覚、意識が高揚され、また選手層も厚くなり、部全体の勢いが出てきたと感じられます。しかし、そこで忘れてほしくないことが、今年の55期の方針である「暖かみ」です。ただ大会で結果を出したい、技がうまくなりたいというのであれば、わがままや個人プレーが許されるのかもしれませんが、私はそういうことを求めてはいません。防大少林寺拳法部で少林寺拳法を学ぶ意義、目的は人と人とのつながり、輪を大切にする人（信頼関係や協調性を含む）、自分に自信を持てる人になるということで、人間的な魅力、人間性を高めることにあると思います。そのために目標として日本一、最優秀賞や昇段審査合格等があります。

特に最優秀賞をとるためには、周りの人の協力がないと絶対とれません。また上の人から言われると受け身になりがちなので、同期からの厳しい声や励ましの声が必要になってきます。そうやって最優秀賞という目標に向かってお互いに声をかけ、意見を出し合えば、今自分たちがやるべきことは何なのか、今自分が出来ることが何なのかが分かってきます。それが分かって日々の練習に取り組んでいけば、全日本では結果がついてくると信じています。

確かに口言うのは簡単、実際にやること、やらせることはその何倍も大変であることは承知の上です。しかし、技や演武が上達するとき、人として成長するときというのは、少林寺拳法の魅力に気づき、引き込まれていったときだと思います。私としてもその少林寺拳法の魅力を部員全員に伝えたい、気づいて成長してほしいという思いを胸に、これからの練習に取り組んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、55期政権も後半年となり、過去を振り返って悩むこともありますが、これからもっとどのようにすれば部が良い方向に進むのか、日々試行錯誤して全力で運営していく所存でありますので、部長、先生、監督、顧問、OB、OGの方々、今後ともますますのご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

結手



## 少林寺拳法日々修練

第55期 副将 川上 政晃

合掌

新品の胴着をまとい、習いたての振り子突きを一本一本、一生懸命に突く新入部員の真剣な姿。そんな彼らの姿を見て、3年前の自分を思い出す今日この頃です。また、我々55期が政権をとって早くも半年が経過し、55期政権として折り返し地点に来ました。

私は副将を務めています、同時に3年係正の役職にも就いています。政権をとった当初は、下級生に教えることの難しさを噛みしめる日々でした。しかし、今では日々上達していく3学年の56期の姿を見て喜びを覚えています。

唐突ですが、私は少林寺拳法に打ち込む中で、自分が本当に上達しているのだろうか、と疑問を抱き真剣に悩んだことがあります。それは私が2学年の時に、全日本学生大会に向けて土日返上で演武の練習をしていた頃です。いわゆるシーズンの時です。来る日も来る日も演武を通していましたが、過去のビデオで見た大会で賞をとるような演武には遠く及ばず、今の自分はいままで上達していないのではないかと疑問を感じました。

そこでシーズン中のある日の練習後、私は当時の2年係正と副将にその悩みを打ち明けました。すると、「1週間前と比べてうまくなっているかと言われればわからないが、半年前よりは確実にうまくなっている。」と言われました。このことは当たり前ではありますが、武道とは一朝一夕で上達するものではなく、日々の修練が長年積み重なって上達するものである、ということを実によく表しているのではないかと思います。この言葉ももらい、私はその後も少林寺に打ち込むことができました。

3年係正の一番の仕事は3学年に団体演武で日本一を取らせることです。先に行われました関東学生大会において、防大団演は3位という結果に終わってしまいました。結果は結果として受け止めて反省しなければなりません。しかし、その反省点を改めて日本一を必ず勝ち獲るという意気込みを3学年皆が抱いています。寸暇を惜しんで鏡に向かい、真剣に基本に打ち込む姿が今まで以上に見られます。そんな彼らに日本一を取らせるために、私は彼らとともに日々修練に努めます。「団体演武の部 第1位 防衛大学校」というアノウンスが日本武道館に響き渡るその日まで。

結手

## 少林寺拳法部に入部して

56期 関川 達弥

合掌

私が少林寺拳法部に入部したきっかけは、何か新しいことを始めたいと思ったことと、少林寺拳法を通じて心身を鍛練し、人間として成長したいと思ったからです。厳しい校友会だとは聞いていましたが頑張ってみようと思いました。最初は、武道の経験がまったくなく体の動かし方や使い方もわからず覚えることがたくさんあり大変でした。しかし、周りにも初心者がたくさんいてだんだん慣れてきて日々の練習に励んでいました。

初めての大会では残念ながら選手にはなれませんでした。全国からたくさんの方が来てとてもびっくりしました。そして54期の団体演武を見てとても感動しました。大会を見ていてももっとうまくなろうという気持ちが強くなっていきました。

そして、3学年になり団体演武の練習が始まった。練習はとても厳しく嫌だったこともあるけど周りの同期が励ましてくれました。周りの同期が真剣に練習をやっているのを見て自分も頑張ろうと思いました。結果は優良賞であったが、自分にとって得たものは大きく、技術や自信などがつき練習が面白くなり、やる気が出てきて校友会活動が有意義になりつつある。次の全国大会では、悔いが残らないように日々の練習を全力で取り組み日本一を勝ち取りたいと思います。

結手

## 私と少林寺拳法との出会い

56期 西田 浩士

合掌

私が少林寺拳法部に入部したきっかけは、やりたい部活を見つけられていなかったときに少林寺拳法部の上級生が勧誘に来たことで、入ってみようと思ったからです。最初は、武道を学んだ経験が無く、不安を抱き校友会へ行っていた私も、9割が初心者という環境の中で、すぐに馴染むことができ、校友会でたくさんの同期と一緒に日々の練習に励んでいます。辞めたいと思ったときもあるけれど、そんなときはいつも頑張っている同期を見て励まされたり、相談にのってくれたりしてくれています。今は、一緒にいて楽しくて、信頼できる仲間、同期に会えることが出来て、本当に少林寺拳法をやっていて良かったなと思っています。私は、少林寺拳法を始めたこと、素晴らしい同期や上級生に出会えたこと、そして苦しいときも支え合って乗り越えたことを誇りに思っています。そして、私を成長させてくれた少林寺拳法に感謝し、これからも続けていきたいと思っています。

結手

## 勝敗の先に見えるもの

57期 松崎諒一

合掌

武道の本質は肉体と精神との融合であり、それが生み出す哲学だと信じている。中学時代から居合道を習っていて、その高い精神性が好きで武道が大好きになった。そして防大で少林寺と出会ったのだ。張りつめられた肉体に剛柔の融合、さらに静寂を持ちあわせるこの武道に私はやりがいを感じている。多くの素晴らしい出会いと充実した日々は、馬鹿みたいに笑えて、馬鹿みたいに辛くて、馬鹿みたいに感動できた。先に述べたように私は武道を哲学だと信じている。勝敗より高い次元にその本質は存在している。その本質を気付かせてくれたのもこの部だ。もっと高みを見たい。しかしそれは試合での単なる勝利ではない。静寂の中に舞う刹那の輝きにも似た肉体と精神の発露だ。私はまだまだその静寂さえ見つけていない。しかしこの部ならばその入口が見えるかもしれない。だからこそ私は、この星で最高なこの部の方々とともに汗を流し続けるだろう。

結手

## 防大少林寺拳法部が教えてくれたこと

57期 朝鶴 悠太

合掌

私は防大少林寺拳法部であることに誇りを持っています。なぜなら防大少林寺拳法部よりも上下左右の関係が強いところはないと思っているからです。少林寺に入部して1年が経ちました。たった1年でしたが本当に濃密でした。数えきれないくらいのことを学びました。自分が1学年の時、少林寺拳法の楽しさを教えてもらいました。全日本では、勝つことの難しさ、負けることの悔しさを学びました。幹部交代式では別れの辛さが痛いほど分かりました、ブラウンシーズンでは同期の大切さを学びました。そして、2学年になり新しく1学年が入部してきて、上級生としての責任感とプライドを今学ぼうとしています。これからもこの部活でたくさん学び日々精進していきたいと思います。

結手





## 平成 2 2 年度部員名簿

(平成 2 2 年 5 月 1 日現在)

期別	小隊	教務班	要員	フリガナ 氏 名	役職等
55	112	電気(7)	陸	ナカカ <small>フ</small> 中岡 <small>ダイスケ</small> 大輔	2年係副
	121	人間(1)	陸	ヤサキ <small>アツシ</small> 矢崎 敦	主務 3年係補
	122	応化(5)	空	アシダ <small>ユウジ</small> 芦田 勇次	渉外 3年係補
	122	応化(5)	陸	ウエノ <small>ツル</small> 植野 辰徳	1年係副 乱捕
	123	応化(5)	陸	ヒラガ <small>タイキ</small> 平賀 大樹	1年係正
	132	人間(1)	陸	シゲマツ <small>オサム</small> 重松 紀	道場長 1年係補
	141	応化(5)	陸	サワヤ <small>ツヤ</small> 澤谷 竜也	統制長 1年係補
	212	通信(8)	陸	オウエ <small>シンイチ</small> 尾上 真一	主将
	242	建設(14)	陸	コバヤシ <small>キコウ</small> 小林 棋孝	2年係正 乱捕
	312	公共(2)	陸	ムラタ <small>マリナ</small> 村田 茉莉那 W	庶務 2年係補
	322	公共(2)	陸	カワガミ <small>マサアキ</small> 川上 政晃	副将 3年係正
	411	機械(11)	陸	ミツムネ <small>ハヤト</small> 光宗 勇人	2年係補
432	国関(3)	海	フジタ <small>タカヒト</small> 藤田 孝仁	会計 庶務 3年係副	
56	112	航空(13)	陸	ニシダ <small>ヒロシ</small> 西田 浩士	
	131	航空(13)	空	ニノ <small>カズミ</small> 丹羽 和美 W	

56	141	機シス(12)	陸	キタムラ オサム 北村 修	
	141	機シス(12)	海	ウエノ ヨシマサ 上野 嘉優	
	141	航空(13)	空	キシガミ ヨシタカ 岸上 吉孝	
	143	航空(13)	空	ナリ ナリ ヨウスケ 南里 陽介	
	222	建設(14)	陸	ホック・ウィチェッ トラー	
	311	電気(7)	陸	セキガワ タツヤ 関川 達弥	
	312	電気(7)	陸	ドン・トック・トア ン	
	312	電気(7)	海	スズキ ダイショウ 鈴木 大翔	
	331	応化(5)	陸	セキド カンショウ 関戸 貫生	
	421	公共(3)	陸	サトウ コウヘイ 佐藤 康平	
	431	応物(4)	陸	ウチキ シウヘイ 内木 修平	
57	121	航空(13)	空	リュウ シンノスケ 笠 慎之介	
	121	航空(13)	空	モリミツ アキヒコ 盛満 昭彦	
	123	理工(12)	共通	タナカ ショウタ 田中 翔太	
	132	機シス(12)	海	エンドウ マコト 遠藤 真琴 W	
	142	航空(13)	陸	アリムラ マサキ 有村 匡城	
	242	応物(4)	陸	タケムラ シゲト 竹村 滋人	

57	312	地球(6)	海	ナカガワ 中川	エリカ 絵莉夏	W	
	331	機械(11)	空	スノウチ 則内	リュウタロウ 龍太郎		
	412	人間(1)	空	マツザキ 松崎	リュウイチ 諒一		
	412	通信(8)	陸	シゲマツ 重松	ツバサ 翼		
	412	電気(7)	陸	アサウ 朝鵜	ユウタ 悠太		
	421	電気(7)	海	フジモト 藤本	ソウイチロウ 宗一郎		
	441	通信(8)	陸	コウ 後藤	カズマサ 和正		
58	123	理工(12)	共通	カタカ 片岡	トシノリ 俊理		
	123	理工(12)	共通	トシタ 富田	ヨシヒロ 祥弘		
	123	理工(12)	共通	ナカノ 中野	カツキ 勝喜		
	123	理工(12)	共通	ナグモ 南雲	ユウキ 祐樹		
	123	理工(12)	共通	ヒグチ 樋口	トシヒコ 敏彦		
	123	理工(12)	共通	マエダ 前田	ヨウセイ 陽成		
	123	理工(12)	共通	モリシタ 森下	マサフミ 真史		
	213	人文(1)	共通	ウノ 宇野	ユウキ 裕喜		
	213	人文(1)	共通	ナカムラ 仲村	アキヒト 暁人		
	233	理工(15)	共通	オオシマ 大島	タツヤ 達也		
	243	理工(16)	共通	タモト 田本	アヤカ 綾香	W	

58	243	理工(16)	共通	ナカヤ 仲矢	ミツキ 光希	
	313	理工(4)	共通	ニシヤマ 西山	タケユキ 貴幸	
	323	人文(2)	共通	カワグチ 川口	リウタロウ 涼太郎	
	323	人文(2)	共通	クリバヤシ 栗林	マサキ 正樹	
	323	人文(2)	共通	ヤマサキ 山崎	ダイシ 大嗣	
	413	理工(7)	共通	ユアサ 湯浅	リウ 諒	
	433	理工(8)	共通	ミヤギ 宮城	ミツヒロ 充宏	
	433	理工(8)	共通	ミヤマト 宮本	タイスケ 泰輔	
	443	理工(9)	共通	フルイ 古市	エイヒト 英人	

\*Wは女子部員の意



【 平成 22 年 5 月 8 日 新入生 (58 期生) 歓迎会での一コマ 箱根小涌園湯ネッサン 】

## 平成 2 1 年度活動成果

日 時	行 事	場 所	成 績
5 月 4 日	第 46 回関東学生大会	日本武道館	男子単独段外：優秀
5 月 16 日	新入生歓迎行事	マザー牧場	部長、監督、神田・頼富両先生、 及び高取部外顧問参加
5 月 30 日	少年工科学校との合同練習	防衛大学校	
6 月 14 日	早慶防合同練習	防衛大学校	+青山学院・上智・東海・明治・ 明治学院の各大学も参加
6 月 28 日	昇段審査	関東学院高校	
7 月 30 日 ～8 月 1 日	夏合宿	埼玉県秩父地区	部長、監督、加藤・齋藤・和田各 顧問、佐藤・米山両部外顧問参加
8 月 17 日 ～21 日	本山合宿 (54・55 期)	香川県多度津町	3 年及び 4 年生 21 名、及 び監督参加
11 月 7 日	第 57 回開校祭 (演武披露)	防衛大学校	23 期の方々の激励
11 月 15 日	第 43 回全日本学生大会	日本武道館	団体演武：5 位
12 月 6 日	横須賀三浦大会	県立福祉大学	組演武：最優秀・優秀
1 月 6 日～ 8 日	寒稽古	防衛大学校	54 期生の最終指導
1 月 30 日	OB 杯 (納会)	防衛大学校及び横須賀 セントラルホテル	
2 月 2 日	全自衛隊大会	航空自衛隊幹 部候補生学校	初二段：最優秀 男子有段単独：優良
3 月 23 日 ～25 日	春合宿	防衛大学校	

※ 関東大会、全日本学生大会、全自衛隊大会の細部は次頁参照。

## 少林寺拳法部 2 1 年度顧問団編成

部 長	通信工学 教授 高橋信朗	顧 問	通信工学 准教授 西田 健
監 督	防衛学 2 陸佐 濱田 秀	顧 問	応用物理 講 師 齋藤文一
副監督	研究科 2 陸尉 永田忠義	顧 問	通信工学 助 教 和田 篤
顧 問	防衛学 教授 加藤三千夫	顧 問	研究科 2 陸尉 西川尚紀
顧 問	通信工学 教授 宇都宮俊男	顧 問	通信工学 事 務 勝 恵子
顧 問	機能材料 准教授 有賀 敦	顧 問	研究科係 事務官 波多野幸子

## 平成21年度各大会個人成績

### 関東学生大会(平成21年5月4日：日本武道館)

男子単独段外の部	優秀	56期	ドン
男子有段単独の部	本戦進出	54期	伊佐信晃
男子二段の部	本戦進出	54期	佐藤康平 鈴木大翔
三人掛けの部	本戦進出	54期	坂口雄幸 小船乗継 村田瞬一郎
男女二段以上の部	本戦進出	54期	荒川紗恵 野添文登
男子段外の部	本戦進出	56期	トラー 関川達弥

### 全日本学生大会(平成21年11月15日：日本武道館)

団体演武の部	5位	55期	植野辰徳	小林棋孝	中岡大輔
			芦田勇次	光宗勇人	平賀大樹
			尾上真一	川上政晃	村田茉莉那
			矢崎敦	重松紀	

56期 佐藤康平

男女二段以上の部	本戦進出	54期	小船乗継 荒川紗恵
男子初段の部	本戦進出	56期	北村修 岸上吉孝

### 全自衛隊大会(平成22年2月13日：航空自衛隊幹部候補生学校)

初二段の部	最優秀	55期	尾上真一 川上政晃
男子有段単独の部	優秀	55期	重松紀

## 平成 2 2 年度年間活動計画（一部実績含む）

期 間	行 事	場 所	備 考
4 月中	<b>全力勧誘期間</b>		
5 月 4 日	関東学生大会	武道館	団体演武 3 位 男子二段 4 位 男子段外 5 位
5 月 8 日	新入部員歓迎行事	箱根小涌園 ユネッサン	新入部員 20 名入部
5 月 29 日	高等工科学校との合同練習	防衛大学校	※旧少年工科学校
6 月 20 日	早稲田大学・慶應義塾大学 との合同練習（早慶防）	防衛大学校	
6 月 27 日	昇段審査	関東学院高校	
8 月 9～13 日	本山合宿	香川県多度津町	3 年生主体に参加
8 月 19～22 日	夏合宿	防衛大学校	
8 月 29 日	神奈川県大会	横浜文化体育館	
11 月 7 日	全日本学生大会	武道館	目標：団体演武最優秀 3 段、3 人掛最優秀 最優秀大学
11 月 20～21 日	第 5 8 回開校記念祭 （演武披露）	防衛大学校	
12 月 5 日	横須賀三浦ブロック大会	県立保健福祉大	
時期未定	全自衛隊大会	未定	
時期未定	政権交代	防衛大学校	
1 月中	寒稽古	防衛大学校	
1 月～2 月上旬	OB 杯演武大会・納会 OB 総会	防衛大学校	
3 月下旬	春合宿	防衛大学校	

\*なお、各月一回を基準に神田・頼富先生の「先生日」（旧：師範日）を予定

## 少林寺拳法部第55期政権編成

役 職	氏 名	所 属	要員・専攻
主 将	尾上 真一	2 1 2	陸上・通信
副 将	川上 政晃	3 2 2	陸上・公共
統制長	澤谷 竜也	1 4 1	陸上・応化
道場長	重松 紀	1 3 2	航空・人間
主 務	矢崎 敦	1 2 1	陸上・人間
会 計	藤田 孝仁	4 3 2	海上・国関
安 全	澤谷 竜也	1 4 1	陸上・応化
3年係正	川上 政晃	3 2 2	陸上・公共
3年係副	藤田 孝仁	4 3 2	海上・国関
3年係補佐	矢崎 敦	1 2 1	陸上・人間
3年係補佐	芦田 勇次	1 2 2	陸上・応化
2年係正	小林 棋孝	2 4 2	陸上・建設
2年係副	中岡 大輔	1 1 2	陸上・電気
2年係補佐	村田 茉莉那	3 1 2	陸上・公共
2年係補佐	光宗 勇人	4 1 1	陸上・機械
1年係正	平賀 大樹	1 2 3	陸上・応化
1年係副	植野 辰徳	1 2 2	陸上・応化
1年係補佐	澤谷 竜也	1 4 1	陸上・応化
1年係補佐	重松 紀	1 3 2	航空・人間
庶務 (OB・師範)	村田 茉莉那	3 1 2	陸上・公共
	藤田 孝仁	4 3 2	海上・国関
本山	重松 紀	1 3 2	航空・人間
渉外・学連	芦田 勇次	1 2 2	陸上・応化
乱捕り	植野 辰徳	1 2 2	陸上・応化
	小林 棋孝	2 4 2	陸上・建設
体力	中岡 大輔	1 1 2	陸上・電気
写真	重松 紀	1 3 2	航空・人間
ホームページ	村田 茉莉那	3 1 2	陸上・公共



←【十条支部の浄財により購入したサンドバック「台座」】



## 少林寺拳法部顧問団編成

部長 教授 高橋信明  
 先生 (旧師範) 神田先生 (准範士 7 段) 頼富先生 (准範士 6 段)  
 監督 2 陸佐 濱田 秀 副監督 2 陸尉 永田忠義 2 空尉 藤井 貫志  
 顧問団 教授 宇都宮 俊男 加藤 三千夫  
 准教授 有賀 敦 西田 謙  
 講師 齋藤 文一 助教 和田 篤 2 陸尉 板東正崇  
 事務 勝 恵子 伊藤 春代



(敬称等略)

前列左から：

宇都宮、板東、高橋部長、  
伊藤、藤井

後列左から：

濱田監督、西田、和田、  
加藤、有賀、勝、永田

【平成 22 年度顧問団の面々】

部外顧問 出口 1 空佐 (#24 空：元主将・全自支部長) 佐藤 1 空佐 (#24 空：元監督)  
 坂本 1 空佐 (#25 空：元監督) 相良 2 海佐 (#26 海：元監督)  
 米山 2 陸佐 (#27 陸：元監督) 吉武 2 陸佐 (#31 陸：元主将)  
 高取 2 海佐 (#37 海：元監督)



【出口先輩：那覇】



【佐藤先輩：入間】



【坂本先輩：十条】



【相良先輩：目黒】



【米山先輩：目黒】



【吉武先輩：横須賀】



【高取先輩：厚木】

※ 部外顧問の方には、防大近隣に来られた時にご指導をいただきます。

# 奥平会報



※ 2010年1月30日に実施された納会における現役・顧問団と奥平会員の面々

## 会長挨拶

奥平会会長 石渡 幹生

合 掌

奥平会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、21年度の母校少林寺拳法部の活動につきましては、女子学生を含む新入生部員をしっかりと獲得し、久しぶりに夏合宿を校外で実施するなどの動きがありました。しかしながら、目標としている関東、全日本学生大会において、団体演武の演技要領・評価基準の変更の過渡期における混乱から、不本意な結果に終わったことに、学生諸君が一番悔しい思いをしたと思います。これを糧に更に精進してくれるものと信じております。また、奈良基地で行われた全自衛隊大会に、遠方かつ限られた外泊時間をおして参加し、模範的な演武を見せて大いに大会を盛り上げてくれました。

奥平会につきましては、ほぼ例年並の事業を淡々と実施しております。昨年この場をお借りしてお願いしました次のことに、引き続き御理解と御協力を賜りますことを重ねてお願いいたします。

- ① 年1回の総会を、2月のOB杯争奪戦に併せて、母校の体育館で開催しておりますが、毎年参加者を確保するのに苦勞しているのが実情です。寒い時期ですが、学生から元気をもらうつもりで、お出かけ願えれば幸いです。
- ② 21年度後期の異動で研究科の学生が2名増えたものの、未だ恒常的な事務局の運営、学生支援体制など、憂慮すべき状況にあります。特に事務局業務は実質1名（27期濱田 秀）で実施されており、指導官、防衛学教官といった職員を確保すべくご協力をお願いいたします。

会員並びに御家族皆様の御健勝と御多幸を祈念申し上げ、御挨拶といたします。

結 手

## 平成21年度奥平会活動概要

### 1 現役部員に対する支援

日常における学生に対する指導をおこなうとともに、夏季合宿、関東・全日本学生大会等への支援を実施致しました。細部は別紙第1「平成21年度奥平会活動成果報告」のとおりです。

特に顧問の少ない中、事故もなく各種行事を乗り切れましたのも、OB・OGの方々のご多忙中にもかかわらず、大会等の応援に駆けつけてくださったお陰と感謝いたしております。22年度につきましても、できる限り大会等の予定を御連絡いたしますので、応援・ご支援のほどよろしく申し上げます。

### 2 総会の実施

平成22年1月30日、防大において学生による「OB杯演武・乱捕り大会」に併せて平成21年度奥平会総会を開催しました。総会には規定会員に満つる参集をしていただきました。

総会では、活動報告及び会計報告を行ったほか、今後の奥平会活動等について発議し、熱心に討議が行なわれました。細部討議内容につきましては別紙第2をご参照ください。

出席いただいた会員の方々、誠にありがとうございました。

### 3 平成21年度会計報告

別紙第3「平成21年度奥平会決算報告書」をご参照ください。

## 平成22年度奥平会活動予定

### 1 平成22年度奥平会活動内容

別紙第4「平成22年度奥平会活動計画」をご参照ください。

### 2 平成22年度奥平会予算

別紙第5「平成22年度奥平会予算計画」をご参照ください。

### 3 平成22年度奥平会本部

役 職	期 別	氏 名	連 絡 先
会長	17F	石渡 幹生	(退職)
副会長 (市ヶ谷等)	17A	鈴木 陽	(退職)
副会長 (市ヶ谷等)	24F	佐藤 秀幸	中部航空警戒管制団 副司令 8-43-2251
副会長 兼 総括幹事	27A	濱田 秀	防大防衛学国防論 8-40-3853
庶務・広報	50A	永田 忠義	防大研究科 (応物) 8-40-3629
会計監査委員	20A	半澤 康司	(退職)
庶務 (副) 広報 (副)・HP	51A	板東 正崇	防大研究科 (機械) 8-40-3432
会 計	50F	藤井 貫志	防大研究科 (地球) 8-40-3312

## 期連絡網について

### 1 趣 旨

奥平会の有効活用と活性化を図るとともに、会員の名簿を効率的に整理する。  
特に近年、退職者が多数おられて、会員の掌握が難しくなりつつある現状を踏まえ、他  
校友会会員の扱い等も参考にしつつ、掌握に努める。

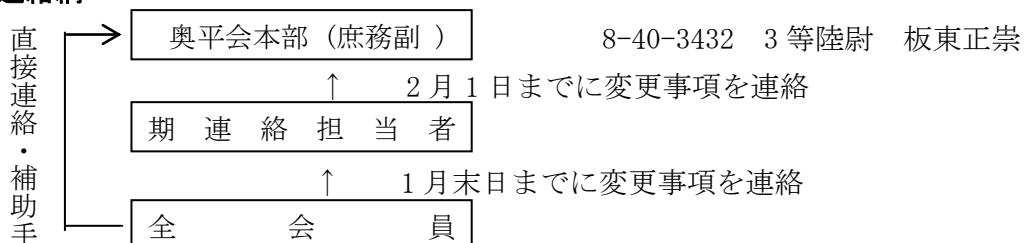
### 2 連絡の要領

- (1) 各期に1名、連絡担当者をおく。
- (2) 住所・所属等が変更になった場合、各人は毎年1月末日までに同期生の連絡担当  
者に連絡し、変更事項を告げる（直接防衛大学校庶務に連絡することも可能）。
- (3) 連絡担当者は、年度の変更事項をまとめて毎年2月1日までに奥平会本部（防大  
庶務（今年度は副））に連絡する。期担当者の変更（交代・転出）についても防大  
庶務（副）に連絡する。
- (4) その他、会員の慶弔に関する事項については、各人ごと直接又は連絡担当者を通  
じて奥平会本部に連絡するものとする。この際同窓会本部との連携に留意する。

### 3 連絡担当者の指名

3年を任期とし、次の担当者を期毎指名し、申し送るものとする（再任を妨げない）。

### 4 期連絡網



### 5 期連絡担当者 (22.4.1現在)

10	10	調整中		25N	内山 哲也	大湊	40A	上野 洋介	市ヶ谷
11	11A	勝野 建朗	退職	26F	池 島 暢也	十条	41A	後藤 仁志	習志野
12	12A	衛藤 利治	退職	27F	堀田 隆治	市ヶ谷	42A	古賀 信之	土浦
13	13A	調整中		28A	湯浅 悟郎	伊丹	43A	廣瀬 繁	目黒
14	14A	清水 重周	退職	29A	甲斐 正人	健軍	44A	渡邊 俊明	前川原
15	15A	上杉 和壽	退職	30A	福田 洋司	旭川	45A	八木 新	旭川
16	16A	富本 啓一	退職	31A	吉竹 辰明	横須賀	46A	菊池 裕紀	目黒
17	17A	中尾 吉孝	退職	32A	福重 毅尚	市ヶ谷	47A	矢野 健一	弘前
18	18F	笠原 久	退職	33N	町島 敏幸	出向	48A	対比地貴之	松本
19	19A	屋久 俊郎	退職	34A	松永 康則	市ヶ谷	49A	西川 尚紀	市ヶ谷
20	20A	小林 実	退職	35A	戒田 重雄	朝霞	50N	鳥居 悠希	小月
21	21A	湖崎 隆	札幌	36A	藤岡 史生	市ヶ谷	51A	加藤 僚	青森
22	22A	松村 利宏	古河	37N	高取 哲郎	厚木	52N	上田 佳裕	江田島
23	23A	日高 政広	伊丹	38A	奇藤 浩	仙台	53A	磯畑 良太	山口
24	24F	中館 利光	市ヶ谷	39A	中村公多朗	市ヶ谷	54A	坂口 雄幸	前川原

# 連 絡 事 項

## 1 会員名簿の更新について

会員名簿につきまして所属等不明者は、空欄にしております。本人もしくはその所属等を知っておられる方、また記載内容の間違い等にお気付きの点がございましたら期連絡担当者又は防大奥平会本部庶務まで御連絡ください。

近年、部誌のデータが更新されない等の理由で、送付した部誌が戻ってきまうケースが多く見られます。このため、今年は努めて期担当連絡者と連絡を取るよう努めましたが、連絡がなかった、あるいは連絡がつかなかった期につきましては、昨年度のデータを基に作成しております。

## 2 期連絡網について

期連絡網について上記のように設置していますので、会員の皆様におかれまして住所の変更等がありましたら期連絡担当者まで御連絡下さい。

尚、期連絡担当者様の所属が変更になっている場合、部誌が届いていない恐れがあります。その際は、お手数ですが、同期の方またはお近くの方から期連絡担当者様に本部へご連絡いただけるようお願い申し上げます。今後、最盛期の勢力であった期が逐次退職して行き、連絡がつきにくくなって行くことが考えられます。期連絡網を活用して行くよう努力致しますので、ご協力の方どうかよろしくお願い申し上げます。

## 3 メール化のご提案

部誌作成業務は、学生と防大勤務者の共同で手作り作業により、営々と行われてまいりました。一方で昨今の IT 技術の発達に鑑み、これを利用するならば、部誌作成業務の省力・節約化、配布の迅速確実化が望めると考えることが出来ます。近い将来一部でもこれを実現化することも重要だと思われます。この提案に関する意見のある方は、奥平会本部庶務(副)板東 2 陸尉 ([em49015@nda.ac.jp](mailto:em49015@nda.ac.jp)) までメール連絡下さい。

## 4 本部連絡先(副会長・総括幹事)

防衛大学校防衛学教育学群国防論教育室      2等陸佐 濱田 秀  
専用線 8-40-3853  
局 線 046-841-3810 (内 3853)  
e-mail [hamashu7@nda.ac.jp](mailto:hamashu7@nda.ac.jp)

## 5 その他

- (1) 会員の慶弔がありましたら、期連絡担当者若しくは本部庶務(副)まで、ご本人若しくは近傍の会員の方からご一報いただきますようお願いいたします。
- (2) インターネットの防大ホームページ (<http://www.nda.ac.jp/index-j.html>) に少林寺拳法部のホームページを開設いたしております。活動状況、成績、知りうる範囲で会員様の慶弔等も逐次掲載しておりますので是非ご覧ください。

## 奥平会員の情報提供につきまして（お願い）

※ 明日の少林寺拳法部の基礎を築く・・・OBの方々のご協力について

以下の方は、OB名簿送付先が不明です。事務局と致しましても防衛大学校本部などとも連携して所属等確認中ではありますが、返送されてきた方のお名前も含まれております。気がつかれた方、個人的に交流がございます方は、奥平会事務局副会長（防大）濱田 2 陸佐 ([hamashu7@nda.ac.jp](mailto:hamashu7@nda.ac.jp) : 046-841-3811 内線 3853、専用線 8-40-3853)、もしくは奥平会本部庶務（副）板東 3 陸尉 ([em49015@nda.ac.jp](mailto:em49015@nda.ac.jp) : 046-841-3811 内線 3432、専用線 8-40-3432) にお知らせいただけると、ありがたいです。なお、御退官前に、連絡をさせていただく場合もございますので、どうかよろしくお願い致します。

【不明者（敬称略）】

**10 期生**：黒野耐、三井光夫、清水薫男岡崎昭一

**11 期生**：坂本元昭、藤田尚

**14 期生**：清水直正

**15 期生**：安村幸次、三嶋利克、上杉和壽、今村修二

**16 期生**：阿部哲夫

**19 期生**：園部武典、三星忠正、園山栄一

**20 期生**：山形克己、仲原久晃、高岡正明、馬場崎修、岳川清美、岸本昌文、木村孝彦

**21 期生**：高橋久泰、澤井研次、花田一志、浜崎勝、真田雅章、鍋島和史、笹島宏

**22 期生**：原田有繁、小関信宏

**26 期生**：河原敏和、小野長門、瀧澤由則、澤木優輔、平野勝

**27 期生**：川村治彦、馬場政和、西山利昭、蔵田衛人、沢村徹、中里巧

**28 期生**：永井大介、越水達哉、吉田正人、畦地勇、鶴見耕市、神山隆、米田健二、西小路謙、中川勝也、平島一、鈴木巧

**29 期生**：松岡恭一、坂井辰也、青柳光、川上和美、浅川玉樹、詫摩安廣

**30 期生**：後藤豊、黒田健一

**31 期生**：久富博幸、大島龍一朗、辰巳竜悟

**32 期生**：松尾研志 **33 期生**：久永智、川崎英幸、椎葉浩正、半澤新吾、田中勝也、鵜

澤直樹、高橋真一、西窪純 **34 期生**：氷室正一郎、河田成治 **36 期生**：岩村伝法 **37**

**期生**：吉田文二、鈴木隆弘 **39 期生**：長濱誠、鳥越渉 **41 期生**：吉村祐樹 **42 期生**：

清水辺大、土本邦彦 **43 期生**：梅原航、松口俊三、古谷尚久、関大吾、森脇竜二 **44**

**期生**：八尋幸一 **47 期生**：村重亮、久郷一雄、本多一郎、谷口裕昭 **48 期生**：飯沢

直人、廣神敏 **49 期生**：砂川広樹 **51 期生**：稲葉雄一、林康平、石川貴之、阿部哲

也、島原祐太、山内裕介、増田陽輔、養田智弘 **52 期生**：高浦二三康 **53 期生**：吉

武直洋、漣博司、棟尾英典

## 奥平会員名簿

### 1 奥平会名誉会員名簿

別紙第6「奥平会名誉会員名簿」をご覧ください。

### 2 奥平会員名簿

別冊「奥平会員名簿」をご覧ください。この際、新たに期連絡網等で連絡・判明した会員の所属変更等は●印で記載しております。

## 奥平会会則

21年度総会では、昨年に引き続き、総会の参集人員のありかたや、OB顧問が防衛大学校に所在しなくなった場合について等、問題提起がなされました。今後の検討に資する意味で奥平会会則を掲載致しました（別紙7）。

## 少林寺拳法全自衛隊支部について

自衛隊員の活動を容易にし、自衛隊の中での少林寺拳法の活動を活発化する目的で、全自衛隊連盟の一支部として、全自衛隊支部が設立されております。

設立の趣旨としましては、各拳士が全国どこの自衛隊勤務地においても少林寺拳法の練習ができるように設立されたものであり、自衛隊の少林寺拳法の活発化を図るものです。

現在、空自の出口潔1等空佐（防大24期主将）が支部長・事務局事務担当者として、相良達也2等海佐（防大26期：元監督）、米山多佳志2等陸佐（防大27期：元監督）が会報担当者として、この業務に携わっております。詳しくは別紙8をご覧ください。



【平成21年8月17日～21日 本山帰山 54・55期生&監督】



## 平成 2 1 年度奥平会活動成果報告

### 1 少林寺拳法部活動支援

- (1) 各種活動に対し、金銭的支援及び防大所属会員等による人的支援を実施した。
- (2) 夏合宿、関東学生大会、全日本大会、第 57 回開校祭、自衛隊大会には近隣の会員からの激励を賜るとともに、所要の予算的事項に関し、金銭的支援を実施した。
- (3) OB 交流等を通じて、昨年度に引き続き合同練習対象校を拡大した（早慶防においては、早稲田、慶應の他、青山、上智、東海、明治、明治学院も加わった）。
- (4) 所要に応じ、OB による技術指導（佐藤・米山・高取各部外顧問）を実施した。

### 2 神奈川県連活動

月例の会議に参加（濱田・高取）

### 3 横須賀・三浦ブロック活動参加

- (1) 月例会議参加（月 1 回；濱田・永田・西川）
- (2) ブロック合同練習参加（奇数月：濱田・永田）
- (3) ブロック大会（12 月 6 日）諸準備の実施（濱田・永田）
- (4) 忘年の夕べ（12 月 7 日）に参加（濱田）
- (5) 新春の集い（2 月 8 日）に参加（濱田）

### 4 OB 連合会活動参加

- (1) 総会・懇親会への参加（於：東京大学；6 月 13 日；濱田・米山）
- (2) 合同練習会・懇親会への参加（於：中央大学；11 月 22 日；濱田・米山・高取）

### 5 校内活動

- (1) 少林寺拳法部顧問会議の開催
- (2) 政権・OB 合同会議（1 ヶ月に 1 回、必ず実施）
- (3) ホームページの作成及び運営指導（行事等の機微に応じた広報活動を指導）
- (4) OB 杯に引き続く総会の開催（1 月 30 日）

## 平成 2 1 年度奥平会総会議事録

### 1 学生に対する指導の着眼点

- (1) 関東学生 OB 連合会及び少林寺拳法連盟横須賀・三浦ブロック主催の合同練習等への積極的参加

(2) 大会等を通じて交流が深まった大学との合同練習の積極的実施

## 2 平成21年度奥平会活動報告

資料（別紙第1）のとおり報告し、質問等の特記事項なし。

## 3 平成21年度奥平会会計報告

- ・ 資料（別紙第3）のとおり報告し、承認された。なお、大会支援金が例年の16万円から14万円になっているのは、10月～11月にかけて校内にインフルエンザが流行・蔓延し、練習の継続や大会出場を含め外出等も制限される危うい状況のため、その消毒（うがい薬・アルコール等）のための経費を大会支援金から2万円捻出したものである。

## 4 平成22年度奥平会活動計画

- ・ 報告（別紙第4）のとおり承認された。
- ・ 22年度は防大勤務OBが3名（総会実施当時の見積もり。実際は、加藤・濱田・永田・藤井・板東の5名）であり、会員諸氏の一層の支援を依頼した。
- ・ 細部運営要領等は後述。

## 5 平成22年度予算計画

- ・ 報告（別紙第5）のとおり承認された。

## 6 今後の運営について

恒常業務の他、奥平会・防大勤務者に関する事項に関し活発に議論が交わされた。決定事項及び自由意見に関しては以下の通り。

### (1) 監督、顧問業務

濱田会員が実施し、学生の技術指導等は近隣（OB、三浦ブロック等）からの支援をもらう。

特に将来的に防大に所在するOB顧問が増加する見込みも少ないことから、部外顧問制度を充実（学生時代の主将・副将等の優技者、任官後も練習を継続している者、全自支部の役員、元監督等）して、学生の指導を充実する。さらに、OB顧問以外の意欲のある教官を将来的に有段者に育てる等工夫して、顧問団の育成に着意する。

**(2) 幹事業務（以下の記述は1月30日当時の決定事項。22年度の顧問人員の増加により若干の変更事項有り）**

ア 総括業務

濱田（#27）会員

イ 庶務業務

- ・三浦ブロッカー濱田（#27）会員
- ・神奈川県連 ー濱田（#27）、高取（#37）会員
- ・全自衛隊 ー米山（#27）会員
- ・学生OB連盟ー米山（#27）会員

ウ 会計業務

濱田（#27）会員

エ 広報業務

濱田（#27）会員

**(3) 会計監査**

半澤（#20）会員

**7 その他**

**(1) 部旗の作成について**

部旗については、21年度は結局作成完了できなかった。22年度完成を努力目標とする。（部旗用の代金13万円は学生が保管している。部旗内に「贈 菅野先生並びに奥平会一同」と記載する。）

**(2) 現況分析（奥平会を取り巻く組織資源について（「人・物・金」）**

現在奥平会員の退職（10期生）が始まってから約10年が経過し、22年度は21期（1佐）、22期（2佐）が該当期となっている。

20期代は奥平会員数のピークを迎えた期であり、30期代から減少に転じたことから、10年以内にOB数は減少の一途をたどることは明確である。一方で、40期代はさらに人員が減少して4名で政権を担った期もあり、減少の度は今後、さらに増すことが予想される。このような状況を鑑み、これからの奥平会総会は、組織資源である「ヒト・モノ・カネ」に関して検討を続けていかなければならない。

以上のような全般状況の中にあって、平成22年度は40期代の小隊指導官、中隊指導官要員が補充の対象となっており、ここ1～2年補職・配置要請に努力しているところであるが、指導官もしくは本館等の職員や若い顧問等の補充はゼロであった。このような状況からOB顧問の増加は期待できず、今後もこの状況は慢性的に続くであろう。つまり、本年度のような3～4人のOB顧問（職員1～2名、研究科1～2名）で、しかも往年のような若い指導官がいない状況下、防大地区は奥平会事務、及び部外（財団系統・

全自・OB連合・三浦ブロック等)との調整、学生の掌握等に努めなければならない状況にある。

現在、毎年10～15名の部員を確保できる流れがようやくつきはじめ、22年度は学生・顧問の努力により20名の学生が確保できた。このようなことから、「人・モノ・カネ」のうち、奥平会予算の危機的状況は脱したと観てよいであろう(根拠;奥平会年間支出約70万円、学生の終身会費は学生手当の半額なので、1コ学年の人数は白紙的に14～15名必要)。だが、この現況に甘んずることなく今後も現役学生と協力して新入部員勧誘に努めなければならない。

### (3) OB杯の呼称について

OB杯の呼称の仕方を「奥平杯」にすべきではないか、との提案が石渡会員からなされ、これが承認された。**22年度から「奥平杯」と呼称することとする。**

### (4) OB顧問の出費について

一部のOB顧問に、OB連合会や財団関連行事(県連・ブロック)、学生引率その他の活動経費の出費が集中している傾向がある。ここ数年OB会費が財政難であったこともあり、懇親会等については参加費用を半額支給としてきたが、このような負担やその他の負担に対し、個人がボランティアで支払うのも問題があるのではないかと指摘が米山会員からあがった。そこで、取りあえずOB顧問団の必要経費10万円の予算枠をとり、懇親会費の全額支給やその他の必要経費を支給する等、22年度はこの検証期間として設定する旨の提案が鈴木副会長からなされ、この件についても総会で了承がなされた。使用内容を明らかにし状況について22年度総会に報告する。

### (5) OB顧問の選定・調整について

OB顧問の推薦を含め、総会では現実的な話をしなければならない「時代」に入ったのではないかと。また、現在庶務が陸(濱田)なので、海・空の人材情報に疎い部分がある。適任教官の推薦など、それぞれの立場で協力が必要であることから適任の人材がいれば、事務局(濱田2陸佐:専用線8-40-3853もしくはE-mail: hamashu7@nda.ac.jp)に情報提供をお願い致します。

### (6) 自衛隊全自支部について(紹介)

卒業後に少林寺を継続する手段として説明し各人の精進、修養の一助とする。

## 平成21年度奥平会決算報告書

## 1 21年度収支について

収 入		支 出	
前年度繰越金	¥2,086,114	各種大会支援	¥140,000
OB会費(53期16名)	¥864,000	合宿支援	¥15,000
		学生活動支援	¥60,000
利息	0	技術向上支援	¥200,000
防具代	¥100,000	部誌発行関連	¥180,350
小計	¥964,000	関東OB連合会関連	¥39,000
総計	¥3,050,114	三浦ブロック関連	¥36,000
		OB杯・慶事等	¥56,415
		合計	¥726,765
残高(収入-支出)			¥2,323,349

## 2 防具代の出所・経緯について

防具代の項目がございますが、平成15年度に本山から防具の改良・制式化(昇級・昇段・試合等にも使用を統制)が指示された際、急遽防具を購入する必要が生じ、奥平会から一時金50万円を貸し出しすることが、当時の総会で決定されました。それ以降学生は年度毎に10万円ずつ部費から返金をしております。収入の「防具代」は、この10万円を示しております。学生側からの「防具代」は22年度の返済で終了する予定です。

## 3 会計監査報告書

付紙の通り。

## 平成21年度奥平会決算報告書（平成21年1月1日～同年12月31日）

## 1. 収支報告

収入	
前年度繰越金	2,086,114
小計	2,086,114
53期OB会費	864,000
利息	0
その他(防具代)	100,000
小計	964,000
総計	3,050,114

支出	
大会支援金	
関東学生大会	50,000
全自衛隊大会	30,000
全日本学生大会	60,000
小計	140,000
学生支援金	
春合宿支援金	5,000
夏合宿支援金	10,000
新入生獲得支援金	60,000
小計	75,000
技術向上支援金(師範代)	200,000
奥平会運営費	
関東OB連合会関連	39,000
三浦ブロック関連	36,000
部誌発行関連	180,350
OB杯・慶事・雑費等	56,415
小計	311,765
総計	726,765

年度内差引額      ¥237,235 円

## 2. 残高報告

¥2,323,349 円

上記内容に異状ありません。  
平成21年度奥平会会計係

濱田 秀

## 3. 会計監査

厳正な監査の結果、会則に基づき適正に運営されていることを報告します。

会計監査委員

半澤 康司

## 平成22年度奥平会活動計画

### 1 活動内容

- (1) 部活動支援  
金銭的・人的支援を継続して実施する。
- (2) 横須賀・三浦ブロック活動参加  
近隣支部との合同練習に積極的に参加する。
- (3) 関東学生OB連合会活動参加  
懇親会を通じて交流のできた大学との合同練習機会を拡大する。
- (4) 校内活動  
OBの部活動・練習参加に加え、OB自身の技術向上を図り、積極的に指導を実施する。

### 2 部の活動予定

部誌中「平成22年度年間活動計画」参照

### 3 活動に当たっての重点事項

- (1) 新入部員獲得に重点的な支援を行う。(金銭支援、勧誘活動支援)
- (2) 他駐屯地・基地からのOB支援・激励を積極的に得る。  
特に将来的に防大に所在するOB顧問が増加する見込みも少ないことから、部外顧問制度を充実(学生時代の主将・副将等の優技者、任官後も練習を継続している者、全自支部の役員、元監督等)して、学生の指導を有益なものにする。さらに、OB顧問以外の意欲のある教官を将来的に有段者に育てる等、顧問団の育成に留意する。
- (3) 防大勤務OBの増加を要望する。
- (4) 期連絡網については、メールの活用を含め、連絡体制の効率化・迅速化を図る。

## 平成22年度奥平会予算計画

### 1 収入について

40期半ばの部員減少期、厳しいOB会費予算の状況を受けて12年度以来、一口3000円の特別会費を設定、お願いにこたえ、OB・OGの皆様の温かいご援助を受けてまい

りました。これにより18年度には約2ヵ年分の活動費（約140万円）を上回る額を確保することができるようになり、当該年度をもって、特別会費の徴収を見合わせた予算となったことは33号（平成18年度版）でも申し述べたとおりです。

当面の間、22年度以降も卒業時の一時金による予算によりまかなうことになっております。因みに現在の部員数は、4学年13名、3学年13名、2学年13名、1学年20名となっており、22年度以降も終身OB会費による運営が可能です。今後も奥平会の本来の形式であった終身OB会費（卒業時の学生手当の1/2）による運営を追求して行きます。

## 2 支出について

22年度も、大きな事業は予定されていません。会誌印刷の外注化継続経費を含め、恒常的な支出は今年度並となります。

## 3 22年度予算計画について

平成21年度奥平会議事録7-(4)でも指摘され、総会で賛同を得た「OB顧問団必要経費」枠を設定しております。

収入		支出	
前年度繰越金	¥2,323,349	各種大会支援	¥160,000
OB会費(54期9名)	¥486,000	合宿支援	¥15,000
防具代	¥100,000	学生活動支援	¥60,000
利息	¥0	技術向上支援	¥200,000
小計	¥2,909,349	奥平会運営費	¥250,000
		OB顧問団必要経費	¥100,000
総計	¥2,909,349	総計	¥785,000
残高(収入-支出)			¥2,124,349

## 4 来年度以降の見通し

奥平会の運営経費は年間約70万円を必要としております。既にご承知の通り、収入は当該年度の卒業生の終身OB会費（5.4万円/人）によって賄われております。当面は終身OB会費による運営が可能です。

なお、菅野部長からいただきましたご厚志（部旗代）につきましては、部旗の制作費に充てますが前述のように作成要領が本山から示され次第、使用させていただく予定であり、進行状況については総会において毎年ご報告させていただきます。



## 奥平会名誉会員名簿

(22.5.1現在)

職名	氏名	現所属及び役職	連絡先
部長	高橋信明	通信工学科 教授	〒236-0045 横浜市金沢区釜利谷南 3-16-16 TEL 045-784-2339
先生	神田憲和	三多摩副道院長 准範士7段	〒164-0003 中野区東中野 2-14-7 TEL 03-3363-6275
先生	頼富英武	少工校顧問 准範士6段	〒238-0315 横須賀市林 5-6-11 TEL 0468-56-7663
元部長	菅野等		〒236-0042 横浜市金沢区釜利谷東 6丁目 34 番 1-411 TEL 045-786-5877
元顧問 (OB以外)	奥平正人 (奥平会名誉会長)		〒828-0044 豊前市小石原 392-3 TEL 0979-82-2287



【平成21年12月6日に実施された横須賀三浦ブロック大会での1コマ;来賓の小泉進次郎氏と】

## 防衛大学校少林寺拳法部奥平会会則

### (名称組織)

**第1条** 本会は、防衛大学校少林寺拳法部奥平会（以下「奥平会」という。）と称し、防衛大学校少林寺拳法部（以下「少林寺拳法部」という。）に卒業時所属していた者及び一時所属していた卒業生で入会を希望する者をもって組織する。

### (目的)

**第2条** 本会は、会員相互の親睦を図ること、少林寺拳法部の発展向上に資することを目的とする。

### (事業)

**第3条** 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員相互の融和団結の促進
  - ア 総会の開催
  - イ 部隊等における支部の設立と活動に対する支援
  - ウ 会員の慶弔に関すること
    - (ア) 結婚 …… 祝電
    - (イ) 死亡 …… 花輪、弔電
- (3) 会員の修業の便を図ること
- (4) 少林寺拳法部への支援
  - ア 合宿
  - イ 関東、全日本、その他の大会
  - ウ OB杯大会
- (5) 学生OB連合会及び他大学OB会との連携・交流
- (6) その他、本会の目的を達成するため会長が必要と認める事項

### (経費)

**第4条** 本会の経費は、会員より徴収する会費及び寄付等の支援金によるものとする。

### (会費)

**第5条** 20期以前の会員は一律5000円、21期以降の会員は卒業時における学生手当の2分の1（1000円未満切捨て）を終身会費として納入するものとする。なお、一旦納入した会費は返還しない。

### (特別会費)

**第6条** 前条に定めるほか、特別の出費を要するときには、総会の承認を得て会員から特別会費を徴収する。

### (本部)

**第7条** 本会の本部は、防衛大学校（少林寺拳法部）内に置く。

### (名誉会員)

**第8条** 会長は、次に掲げる者を総会に諮り名誉会員にすることができる。

- (1) 防衛大学校長
- (2) 少林寺拳法部の部長、師範、顧問及びその経験者
- (3) その他、少林寺拳法部の発展に功績のあった者

### (役員)

**第9条** 本会の役員は、会員のうちから選出する。役員任期は1年とし、再任を妨げない。

2 本会に次の役員を置く。

- |            |        |
|------------|--------|
| (1) 会長     | 1名     |
| (2) 副会長    | 2名     |
| (3) 幹事     | 本校在職会員 |
| (4) 会計監査委員 | 1名     |

### (会長)

**第10条** 会長は、本会を代表し、会務を総理するとともに、名誉会員との連絡調整にあたる。

2 会長は、会員の中から副会長、幹事、会計監査委員を任命する。

3 会長は、5年任期とし、次期会長の任期に当たった当該自衛官会員の先任者等の推薦によって選考するものとし、当該期会長任期満了までに総会の承認を得るものとする。

4 会長は、陸海空自衛官会員の持ち回りを原則とするが、当該要員に適当な候補者がいない場合は他の要員から選考する。但し、同じ要員から連続して選考しないものとする。

### (副会長)

**第11条** 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき之を代行する。

2 会長は、防大及び市ヶ谷駐屯地等の会員の中で、それぞれ適任と思われる者から副会長を任命する。また、必要によりこれを免ずることができる。

3 状況により、会長は副会長を置かないことができる。

### (幹事)

**第12条** 幹事は、会長、副会長を補佐し、会務を処理する。

2 会長は、防大に勤務する会員を総員幹事に任命する。

### (会計監査委員)

**第13条** 会計監査委員は、年度末及び臨時に会の会計を監査し、会長及び会員に報告する。

2 会計監査委員は、防大の幹事以外の会員の中から会長が任命する。

### (運営)

**第14条** 本会は、総会の決議に基づいて運営する。但し、急を要する事項、若しくは軽易な事項は、会長が役員会に諮って決することができる。

## (総会)

**第15条** 総会は、原則として年1回会長が召集する。但し、必要と認めたときは、臨時に召集することができる。

2 会長は、総会の召集にあたり、副会長に委任することができる。

**3 総会は、会員15名をもって成立する。但し(5名)をこえない範囲で委任状による手続きによることを妨げない(平成20年度総会議決事項)。**

4 総会の議長は、会長がこれに充たるものとする。

5 総会の議事は、出席した会員のうち過半数以上の賛同により、成立するものとする。

## (会務)

**第16条** 本会の会務を円満に処理するため、会長は幹事の中から書記4名を選任する。

2 書記は、総括、庶務、会計及び広報に分掌して処理する。

3 総括担当書記は、会務運営を企画し、会務全般を総括する。

(1) 会長等と密接に連絡を取り、会長の意向を会務全般に反映する。

(2) 年度の活動成果報告を作成して、総会に報告する。

(3) 次年度の活動計画を作成して、総会の承認を得る。

(4) 庶務、会計及び広報担当書記の会務を統制・調整し、会務の円滑な運営を図る。

(5) 状況により、他の担当書記の会務を兼務することができる。

4 庶務担当書記は、主に庶務事項に関して会務を分掌する。

(1) 学生OB連合会、他大学OB会等のOB会組織並びに(財)少林寺拳法連盟、神奈川県少林寺拳法連盟、全自衛隊少林寺拳法連盟等の連盟組織との連携を図るとともに、必要な処置を行う。

(2) 役員名簿を作成する。

5 会計担当書記は、会費を管理し、主に会計事項に関して会務を分掌する。

(1) 会費を徴収する。

(2) 会費納入名簿を作成する。

(3) 会費未納者に対し、会費の納入を促す。

(4) 毎会計年度終了後、特別会費を徴収した場合はその都度、決算報告を作成し総会の承認を得る。

6 広報担当書記は、主に広報事項に関して会務を分掌する。

(1) 少林寺拳法部と連携して、試合日程、合宿等を会員に知らせ、会員の応援を促す等、会員に対する適宜の情報提供を図る。

(2) 少林寺拳法部と連携して、年1回会報を作成し、各担当書記が作成する会の活動計画・成果、決算報告、総会議事録、名簿及び部の状況等を会員に知らせる。

(3) 会員名簿を作成する。

## (会計)

**第17条** 本会の会計年度は、1月1日に始まり12月末日をもって終わる。

- 2 本会所管の会費は、確実なる金融機関（防衛庁共済組合を含む）へ預け入れるものとする。

#### **（会費の使途）**

**第18条** 本会の会費は、次のことにより使途するものとする。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員の慶弔に関すること
- (3) 少林寺拳法部への支援
- (4) 会員等によるOB会活動等への参加支援
- (5) 会員の大会出場（全国大会レベル）への参加支援
- (6) 会長が、副会長及び幹事等の役員に諮り、奥平会、少林寺拳法部の円滑なる運営上必要と認めた事項

#### **（期連絡網）**

**第19条** 本会の有効活用と活性化を図るとともに、会員の名簿を効率的に整理するため、各期に1名の期連絡担当者を置き、会員及び本部との間に期連絡網を整備する。

- 2 期連絡担当者の選出は、各期毎確実に連絡の取れる会員（電子メールアドレス所持者等）を選出するものとし、交代の際には速やかに本部（広報担当書記）に連絡するものとする。
- 3 会員は、住所・所属等に変更があった場合、毎年11月1日までに同期生の期連絡担当者を通じて、変更事項を本部（広報担当書記）に連絡するものとする。
- 4 その他、会員の慶弔に関する事項については、期連絡担当者或いは各会員が直接本部（広報担当書記）に連絡するものとする。

#### **（退会）**

**第20条** 会員で退会しようとする者は、会長に申し出るものとする。

#### **（規則の改正）**

**第21条** 本会の規則は、総会によって変更することができる。

- 2 前項の場合、出席会員の3分の2以上の賛同を得なければならない。

附則：この会則は、平成21年2月14日から施行する。

別紙第6

## **全自衛隊支部の活動紹介**

全自支部事務局

### **【紹介の趣旨】**

奥平会の会員におかれましては、防大卒業時に少林寺拳法の修行を止めてしまった

方、勤務の都合で練習したくてもやめざるを得なかった方、勤務地の中で全自衛隊連盟支部として活動している方、一般の道院・支部に通って活動している方等、いろいろおられると思います。中には活動をしたくても、転属をする度に手続きの煩雑さから、活動を躊躇している方もおられると思います。

そのような状況の中で、自衛隊員の活動を容易にし、自衛隊の中での少林寺拳法の活動を活発化する目的で、全自衛隊連盟の一支部として、全自衛隊支部が設立されたところです。

下記の内容を読んでいただければ、その活動状況はご理解いただけると思いますが、比較的軽易に少林寺拳法の活動が可能になりましたので、奥平会会員の皆様も是非又道着の袖に腕を通していただきたく、この場を借りて紹介させていただきます。

## 1 設立の趣旨

各拳士が全国どこの自衛隊勤務地においても少林寺拳法の練習ができるように設立されたものであり、もって自衛隊の少林寺拳法の活発化を図るものである。全自衛隊支部に所属する場合の具体的な例として、

- (1) 部長が転勤及び退職等により、やむなく廃止や休止せざるを得なくなった少林寺拳法部員の活動継続する場合
- (2) 拳士が転勤等により、少林寺拳法部がない勤務地に異動して活動継続する場合
- (3) 拳士が頻繁な転勤等により、その都度、各少林寺拳法部への転籍ができない場合
- (4) その他、拳士の活動継続が困難な場合

## 2 活動の状況

- (1) 支部長兼事務局長 : 出口 潔 (防大24期: 主将・1等空佐)
- (2) 事務局 : 相良 達也 (防大26期: 元監督・2等海佐)  
: 米山多佳志 (防大27期: 元監督・2等陸佐)
- (3) 支部員: 支部長以下28名(22. 5. 1現在)  
(防大少林寺拳法部出身者: 16名) ※今春54期生入部
- (4) 所在地: 沖縄南西航空混成団(原則として事務担当者の所属場所)
- (5) 支部員の活動場所: 20カ所
- (6) 会費 当面、年会費10,000円を徴収  
(入部、転籍の際、別途、身分証明書代500円、袖章代500円が必要)

### 3 入部及び活動要領

#### (1) 入 部

##### ア 入部資格

全国の自衛隊拳士を対象とするが、原則として、

(ア) 少林寺拳法部を有しない自衛隊駐屯地等において勤務する拳士及びその家族とする。(当面の間、有段者のみ)

(イ) 所属道院支部道場を有しない自衛隊OB拳士も対象とする。

##### イ 入部要領

入部を希望する者は、会費(1万円)及び転籍諸経費(1000円)を添えて入部届又は転籍届(写真2枚含む)を事務局(出口宛)に提出し、入部の承認を得る。

#### (2) 修練場所

原則として、各駐屯地等の施設を活用した修練とする。但し、駐屯地等の近隣に位置する道院支部での修練は、道院支部等の所属長に当部の活動趣旨について理解を求め、参加許可を受けて行う。

#### (3) 支部の事務処理(事務局)

空自・出口潔を支部長兼ねて事務局長(事務担当)とし、事務局を空自南西航空混成団幕僚長室に設置する。(21.8.1以降、現在まで)

原則として、事務局の所在場所は出口拳士の所属する勤務基地等とし、転属等により、その都度、所在場所を変更する可能性がある。

#### (4) 定期連絡

各部員は各自の活動状況について支部長(事務局気付)に定期報告する。また事務局は毎月の参座報告等を通じて、定期的に部員の活動場所を連盟本部に報告する。

また部員の転勤等によって活動場所が変更になった場合は、速やかに事務局に報告する。各拳士からの連絡手段:電話、メール又はFAX等で実施。

#### (5) 部 費

ア 部員の部費は、年間10,000円(暫定・年間個人登録費を含む)とする。

イ 部費は毎年2月末までに徴収する。

(参考:17.4.1現在における必要経費)

年間個人会費	5,000円/人
支部団体登録費	5,000円/部
全自衛隊連盟会費	20,000円/部

全自衛隊大会参加費 10、000円/部

転籍時の身分証明書・袖章代 1、000円/人

(6) 会報少林寺拳法の配布

原則として連盟本部から事務局に一括送付し、可能な限り、年間数回に分けて部員に配布する。

(7) その他

当面の間、部員については有段者のみとする。新入門者及び級拳士は、昇級審査等の関連より、既存の全自連盟の少林寺拳法部所属としてもらいたい。

#### 4 入部及び問い合わせ先

〒901-0194

沖縄県那覇市字当間301

航空自衛隊南西航空混成団司令部 幕僚長 1等空佐 出口潔

T E L : 098-857-1191 (内2202)

専用線 : 8-98-2202

E m a i l : k-deguchi@topaz.plala.or.jp (自宅)



【平成21年7月30日～8月1日 約20年ぶりに行われた校外夏合宿 埼玉県秩父市長瀬】



# 奥平会員名簿

(平成 22 年 3 月 1 日現在)

凡例：●印については期担当連絡員のご連絡等により判明した異動者



【 ～旅立ちの時～ 平成 22 年 3 月 22 日 54 期卒業式 】

## 編集後記

55期 庶務係 藤田 孝仁

合掌

立夏の候、ますますご清栄のことと存じ上げ上げます。54期生が卒業し、57期生はカッター訓練をおえ、58期生20名を迎えた新体制で、気持ち新たに、部員一同日々修練しているしだいであります。

昨年度は残念ながら成績が振いませんでしたが、現在、全日本学生大会最優秀賞を目指して部員一人一人が気持ちを切り替え、目標意識を高く持ち、一日一日の練習に全力で取り組んでおります。特に団体演武においては一昨年の全日本学生大会以後最優秀を逃している現状ですので、先輩方の築かれた輝かしい「防衛大学校団体演武」の名に傷をつけぬよう政権、56期一丸となって最優秀を獲りにいく所存であります。

私ども55期も下級生と共に日々自己研鑽に励み、政権を中心として全部員が修練に励んでいきますので、先輩の皆様におかれましても、ますますのご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今回部誌を作成するに当り、ご協力・ご指導をいただきました部長、監督をはじめとする関係者の方々に厚くお礼を申し上げまして、編集後記とさせていただきます。

結手



